

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁遮音性能Df50を確保	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	-	1.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00			2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	3.2	1.00			3.1
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.4	0.50			
1 昼光率		1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F を採用している	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		3.6	0.40	3.6	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40			
1 広さ感・景観	居室天井高さを2500確保	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	建物のコンセプトが明確で、その方針によって内装が計画されている	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.8	0.31	-	-			2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			

	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
2.4	信頼性			2.6	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50	
	1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			既存樹に対し、補植を行い、保全に努めている	3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			提供公園及び山の麓からの眺めに考慮している	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率の給湯器を導入している	4.9	0.40	-	-	4.9
	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		#VALUE!	5.0	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.9	-	-	-	
4 効率的運用				-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.63	-	-	3.5
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		ダンフスマ、MDF(エコマーク認定品)、再生骨材	5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		再利用できるシステム収納を採用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.5	0.22	-	-	3.5
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁紙接着剤に排出抑制の科学物質が含まれないものを使用	4.0	0.32	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
	1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			CO2排出量を抑えた計画としている	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	カーシェアリングを採用している	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告灯がない	4.0	0.70	-	-	
	2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	